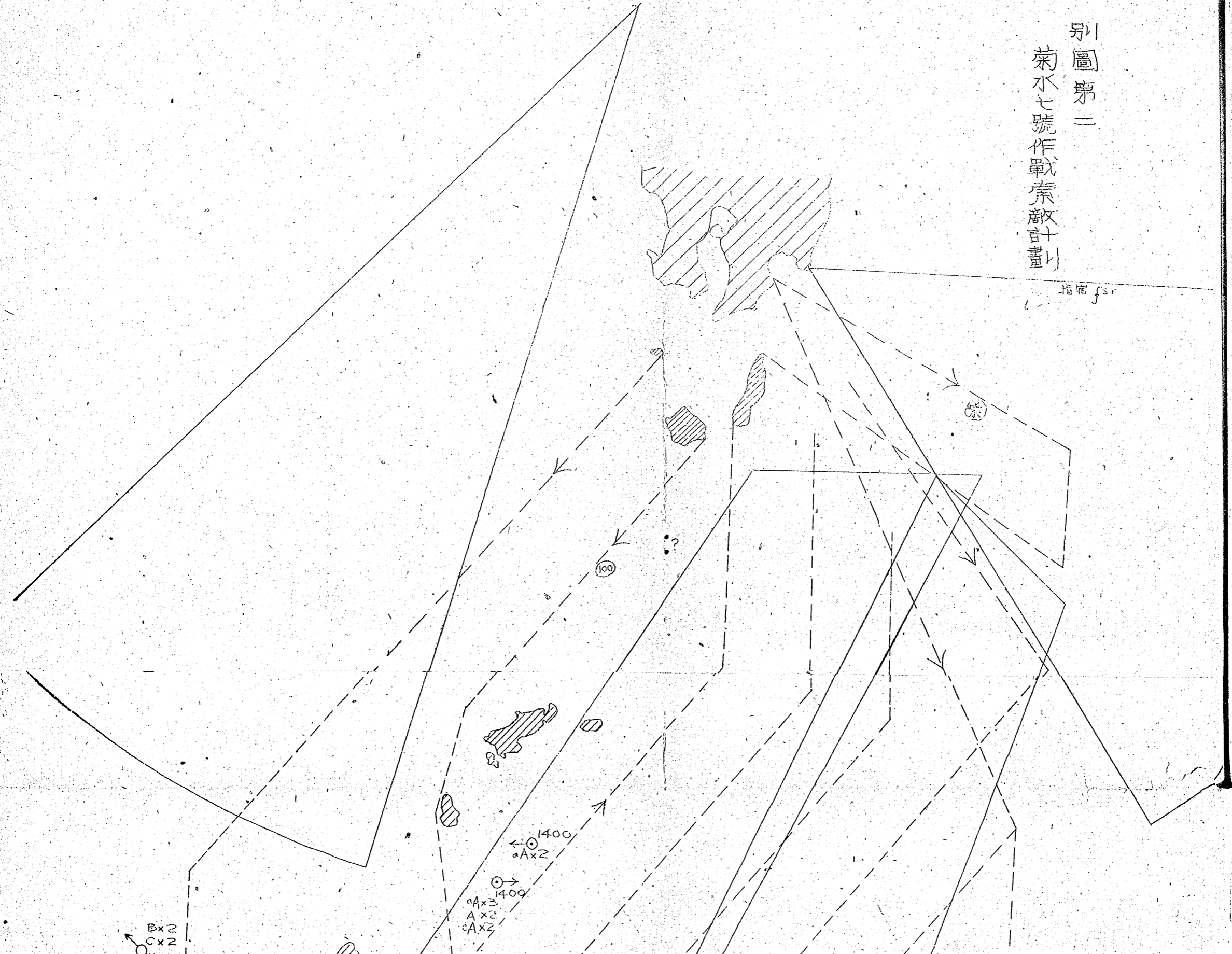
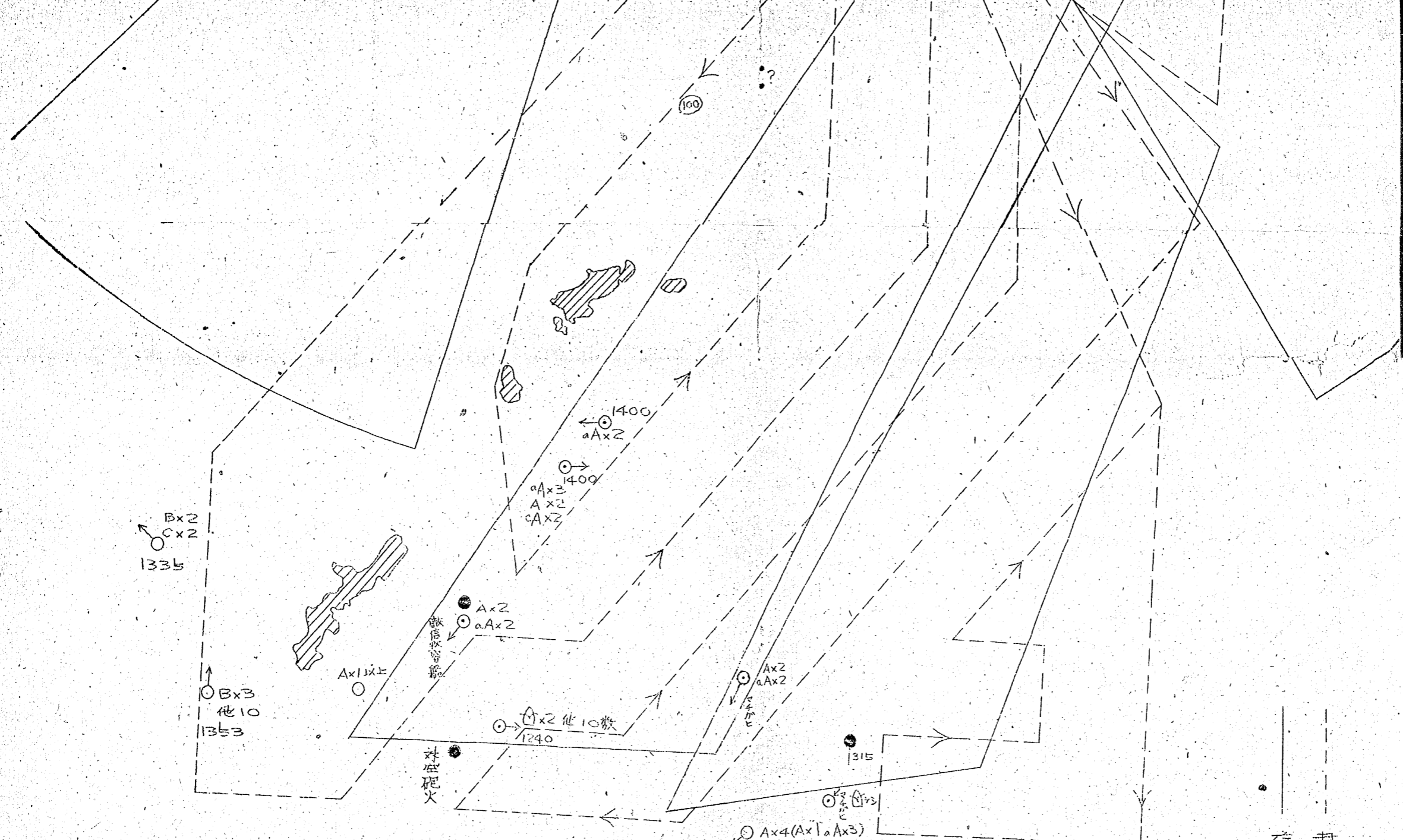


別圖第三
菊水七號作戰索敵計畫

指宿 fsr



AX
X
NA



日間索敵線
 夜間索敵範圍

第三 寫真關係

一 基地寫真施設ノ重要性ヲ認識シ之ガ整備ニ万全ヲ期スル要アリ
偵察寫真處理調製ノ迅速良否ハ一ニ其ノ施設ノ如何ニ依ルモノナルニ
拘ラズ一般ニハ其ノ重要性ヲ認識サレ居ラザルモノノ如シ。一瞬ヲ爭
フ寫真處理ノ施設ヲ直接利用者側タル司令部ヨリ遠隔ノ地ニ設ケ或ハ
偵察隊指揮所トノ交通不便ナル地ニ設置シ、或ハ空襲頻繁ナル基地ニ
於テ地下處理施設ヲ考慮シ非ル等或ハ偵察隊指揮所、司令部、判讀班
等密接ナル連絡ヲ要スル箇所ニ電話聯絡ヲ考慮シアラズ、或ハ又被
彈停電時ノ自力發電裝置ヲ設ケ非ル等何レモ寫真ノ全能ヲ發揮シ得ザ
ル諸因ニ數フルコトヲ得。

一般ニ寫真關係幹部僅少ニシテ而モ大部ハ特准士官ニ一任セラレアル
現状ナルヲ以テ前述ノ如キ施設要求ノ認めラレザルハ已ムキ事情ナ
ルモ幹部ノ理解アル措置ヲ緊要トスル實情ニ在リト認ム

ニ 紫電改ニ寫真兵裝ヲ實施シ局地寫真偵察ニ使用スルヲ可ト認ム
彩雲ノ靈動率不良ナルタメ作戰上至大ノ影響ヲ受クル現状ニ於テ又彼
我ノ距離益々短縮セララル戦局ニ於テハ弱勢ナル彩雲ノ全力ヲ洋上哨
戒、對機動部隊偵察ニ指向シ局地寫真偵察ニハ一部戰闘機ヲ充當スル

ヲ有効ナリト認ム。先年零戦ニ對シ固定航空機^{寫眞} K8 型^(25^m)ヲ裝備攝影實驗ヲ實施セルニ成果良好ニシテ單座戰鬥機ヲ以テシテモ局地一航過寫眞攝影實施可能ナルヲ實證セラレアリ。

紫電改ニ對スル寫眞機裝備並ニ寫眞偵察ノ實施亦共ニ極メテ簡單容易ナリ。

三 本土主要海岸線一帶ヲ急速寫眞攝影實施ノ要アリ。

敵ノ本土上陸作戰ニ備ヘ防備計畫上或ハ又陸上作戰指導上寫眞地圖ノ價值ハ絶大ニシテ未撮影主要海岸線地帯ハ至急各部任務分擔ヲ定メ撮影ノ要アリト認ム。

一「ソロモン」方面以降屢次ノ敵上陸作戰ニ於テ敵ハ綿密精細ナル寫眞地圖ヲ準備シ居ルニ反シ我ハ味方地域ナルニ拘ラズ測量不充分且誤謬多キ地圖程度ノモノヲ有スルニ過ギズ斯ル戰德ノ缺陷立遅レガ各戰鬥場面ニ於テ數々ノ不利ヲ招來セシコト想像ニ餘リアリ。

殊ニ一般軍事施設ノ對空偽裝迷彩不充分ナル現狀ハ寒心ニ堪ヘザル所ニシテ之ガ改善ハ航空寫眞ニ依リ直接責任者ニ其ノ真相ヲ呈示シ偽裝迷彩指導ヲ實施スルヲ最モ捷徑ト認ム。

九州南部地區寫眞地圖ハ現在既ニ其ノ必要性ヲ痛感サレ乍ラ頻繁ナル

敵襲ニ依リ撮影困難ナル情況ニ立到レルニ鑑ミ至急中央ニ於テ立案計畫シ全土要域ニ互リ撮影實施ノ要アリト認ム。

四 戰果確認寫眞偵察ハ万難ヲ排シ實施ノ要アリ。

偵察機ノ實動機數僅少ニシテ攻撃后ノ戰果確認偵察ハ殆ンド實施セラレアラザル實情ナルモ艦型誤認或ハ夜間攻撃時ノ自爆機ノ火柱誤認等搭乗員ノ錯覺、誤判斷ニ基クト認メラル過大ナル戰果報告アリシハ台灣沖、比島沖航空戰遠クハ「ギルバート」「ブーゲンビル」沖航空戰々果ニ鑑ルモ想像ニ難カラザル所ナリ。

假令搭乗員ノ艦型識別能力ヲ向上セシメ或ハ又冷靜沈着有能ナル偵察員ヲシテ偵察セシムルモ主觀的而モ瞬間的目視偵察ニ於テハ或程度迄心理的過誤アルハ當然ニシテ之ヲ難ヲ排シ寫眞偵察ヲ實施スルヲ要スル所以ナリ。

夜間攻撃ト雖モ火柱、火災ヲ撮影スルコトハ可能ニシテ之ニ依リ歸還後冷靜ナル判讀、批判ニ依リ戰果決定ノ資トナシ又晝間攻撃ニ於テモ全機寫眞機ヲ携行戰果ノ片鱗ニテモ把握シ來ル着意アルヲ要ス。

之ガ爲航空寫眞ノミナラズ私用小型カメラ「ライカ」「コンタック」「スー」等凡ユル寫眞機ヲ活用可能ニシテ戰鬥機搭乗員ニテモ片手撮影

可能ナル如キ小型簡便ナル寫眞機ヲ準備携行セシムルノ要アリ
小型機(單座、複座)用戰果確認用寫眞機トシテ適當ナルモノ左ノ如シ

- (一) ライカ
- (二) コンタクス
- (三) 陸式極小九九式航空寫眞機
- (四) 九九式手持航空寫眞機十五種
- (五) 右ノ外小型ポケットカメラ

cm ca.
6X6
mm mm
35 35
フィルム
判(ブローニー)

凡ユル對敵行動ニ於テ更ニ積極的ニ寫眞ヲ活用スルヲ要ス。
沖繩方面航空戰ニ於ケル寫眞偵察ハ概ネ活潑ニシテ連日出動敵機動部
隊又ハ航空基地偵察ヲ實施サレアルモ右以外ノ寫眞ノ用法ハ皆無ニ等
シク戰果確認ヲ始メ戰況記錄用寫眞等殆ンド見ル可キモノナシ、即チ
夜間戰鬪ニ於ケル炎上中ノ艦船、火柱或ハ擊沈潜水艦ノ油紋、攻擊目
標ノ確認等寫眞ヲ活用セバ有効ナリト思惟セララル、モノ尙多々アリ
寫眞ハ偵察機委セナル觀念ヲ排除シ出撃スル一機一機ガ國軍ノ耳目タ
ルヲ自覺シ更ニ寫眞ノ積極的活用ニ努ムルノ要アリト認ム。

六 斜撮影ヲ主トスル手持寫眞機用フィルムハ赤外(750)程度ヲ有利ト認
ム。

比較的被寫體距離僅少(一万余以下)ナル垂直寫眞ニ於テハ寫眞判讀
上赤外線方能トハ行方ズ寧ロ被寫體ノ性質上一「パンクロフィルム」ヲ
有利トスルコト多キモ斜撮影ニ於テハ一般ニ被寫體距離遠大トナリ寫
眞ノ感色性ノ問題ヨリモ寧ロミスト透過率及「コントラスト」大ナル
寫眞ヲ有利トスルコト多シ。殊ニ對機動部隊偵察、艦型識別等ノ目的
ニハ赤外(750)程度ヲ有利トスルコト大ニシテ右ノ見地ヨリ手持寫眞
機用フィルムハ赤外(750)ヲ主トシ「パンクロ」ヲ副トシ現地供給方
手配ノ要アリト認ム。

七 敵ノ採用シ居ル寫眞偵察法

敵ハ我ニ比シ強力ナル偵察兵力ヲ有シ居ルニ拘ラズ或ハ戰鬪機ニ或ハ
爆撃機ニ其ノ他凡ユル機種ニ寫眞偵察ヲ課シツ、アリ、攻撃即強行寫
眞偵察ナリトノ思想ノ下ニ防禦砲火ヲ冒シ攻撃至近距離ニ接近セル際
ニハ必ず寫眞偵察ヲ併セ實施シ其ノ都度偵察成果ノ累積ヲ心掛ケツツ
アル如シ
而モ攻撃部隊ノ撮影セシ寫眞ハ雷ニ戰果ノ確認ニ利用セララル、ノミナ
ラズ次回ノ攻撃資料トシテ万遺憾ナキ迄ニ活用セラレ居ルコトハ殆ド
完璧ニ秘匿サレタリト認メラル、燃弾、特攻基地、兵器集積所等ガ反

覆來襲時ノ攻撃目標トナリシ戰訓ニ依ルモ明ラカナリ。

八 寫眞判讀法ニ關シ
現戰局ニ於ケル寫眞判讀主目標ハ艦船、航空基地ガ大部分ニシテ一般判讀要務士官ノ前二者ニ對スル判讀能力ハ概ネ信頼シ得ル域ニアリ、但シ一部ノ者ハ直感の判讀ニ流レ或ハ又判讀結果ノミヲ呈示シ其ノ結論ニ到達スル各種條件、推理、判斷等判讀理由ノ條理的説明能力不足ノ爲其ノ判讀ニ信頼性稀薄ナルモノアルハ教育上留意ノ要アルト共ニ實施部隊幹部ニ於テモ判讀士官指導上注意ノ要アリ。機上偵察ハ瞬間的直感ヲ程度ニ要求セラズルニ反シ寫眞判讀ノ特長ハ凡ニル角度ヨリ熟視檢討資料トノ比較参照、推理判斷シ得ルヲ長所トスルモノナルヲ銘記シ極力直感の判讀ハ排除セラルル如ク指導ノ要アリ。又一般ニ判讀結果ノ確度ヲ表示シ非ルハ不可ニシテ判決ニ至ル各種條件ノ多少厚薄ニ依リ確度甲、乙、丙等ヲ附記勵行ノ要アリ。

九 寫眞兵器關係

(イ) 固定航空寫眞機 K8型^{25cm}及^{50cm}

現在寫眞偵察ノ主兵器トシテ最モ有効ニ使用セラレアルモ沖繩方面ニ於ケル主ナル撮影目標ハ廣水域ニ散在セル敵艦船ニシテ本寫眞機

ヲ以テシテハ包括範圍狹少ニ過ギ更ニ廣畫角寫眞機ヲ要望シアリ。之ニ對シ差當リ現用K8型寫眞機^{50cm}ハ左右十五度^{25cm}ハ二十度程度振り分ケ撮影用架台ヲ試作シ又同時ニK8型^{50cm}ノ二台組合セ式寫眞機ヲモ試作工事中ナルヲ以テ近ク前線ノ要望ニ添ヒ得ルモノト信ズ。一方寫眞機自体ニ於テモ最近陸軍ニ於テ實驗完了セル新自働航空寫眞機ハ廣範圍撮影用トシテ適當ナリト認メラルルヲ以テ海軍側ニ於テモ之ガ採用ヲ至當ト認ム。

(ロ) 手持航空寫眞機 F8型

本寫眞機ハK8型ノ補助的用法ニ使用セラレアルモ斜撮影ヲ主トスルメメ現用^{25cm}ノ焦點距離ニテハ不足ナル場合多ク最近試作完成セルF8型^{40cm}ヲ切望シアリ差當リ^{25cm}ノ生産ハ過剩ノ狀況ナルヲ以テ万難ヲ排シF8型^{40cm}ノ量産ニ努ムル要アリト認ム。

(ハ) 固定寫眞機鏡玉防油裝置ヲ早急ニ實現ノ要アリ

最近ノ彩雲ハ油漏洩多ク爲ニ鏡玉ニ油穢ヲ生ジ重要ナル寫眞偵察ニ失敗セル事例一再ナラズ應急的ニ手動式鏡玉覆ヲ試作使用中ナルモ不具合ニシテ「マグネット」式自働裝置ヲ至急完成供給ノ要アリ

(ニ) 現像處理要具

敵來襲頻繁ナル基地ニ於ケル寫眞處理ハ概ネ地下壕内ニ於テ實施ノ要アリ之ガ爲ニハ左記用具消耗品ヲ要望シアリ

(一) 長尺フキルム迅速乾燥器具

數米モノ長尺フキルム乾燥ニハ大ナル空間ヲ要シ地下壕内ニ在リテハ其ノ餘積モナク又塵埃ニ依ル汚損率大ナリ

(二) 迅速乾燥ニ多量ノ「アルコール」ヲ要ス

(三) 被彈、停電時ノ燒付作業ノタメ移動式「ガソリン」發電機ヲ要ス

庇屋基地ニ於テハ發電機入手困難ナルタメ日光燒付ヲ實施シ之ガ

タメ大ナル費消時ヲ要スルコト屢々アリ

(四) 長尺フキルム用引伸機械

所要引伸原板ヲ切斷スルコトナク任意ノ箇所ヲ引伸可能ナル如キ

引伸機械ヲ要ス

(終)